

# (二)船場川 姫路競馬場 洪水調節池 だより

第12号  
平成30年5月7日  
兵庫県中播磨県民センター  
姫路土木事務所

平成30年6月から、大雨時に船場川の水を『洪水調節池』へ貯留できるよう、現場では一丸となり、工事を進めています！

分水施設の工事現場(H30.4.17時点)

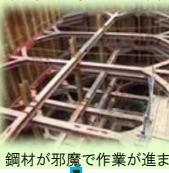


船場川と仕切するための土留矢板が完了し、洪水を分水施設に引き込むための越流堤(コンクリート構造物)の整備が始まりました。左上の写真は、掘削を終え、構造物の床面をつくるため作業員が型枠設置等をしている状況です。

通常は掘削時に土留矢板が倒れてこないように、内側からH型鋼等の鋼材を組み合わせて、水平方向に突っ張りながら作業を進めていきますが、本現場のように狭いところでは、鋼材が作業の邪魔になり、作業効率が低下してしまいます。

このため、土留矢板の背後へグラウンドアンカーを設置した結果、内側に邪魔な鋼材が不要となり、作業空間を大きく確保することが実現し、工事作業のスピードアップが期待できます。

通常の土留め方法(切梁式と呼んでいます)



作業空間が広がる土留め方法(グラウンドアンカー式と呼んでいます)



広くなり工事のスピードアップが期待できるよ！

鋼材が邪魔で作業が進まない

姫路競馬場内の工事現場(H30.4.19時点)



洪水調節池と導水トンネルをつなぐ吐口(はきぐち)施設ができあがり、吐口施設から流入してくる洪水を貯める下段池を整備しているところです。

左上の写真は、バックホウ(ICT機能付き)で掘削している状況です。



左真ん中の写真は、工事現場の全景になります。

現在、馬が走る馬場の内側全面を約10m掘り下げた状態であり、約12万m3の洪水を貯留できるように工事作業を進めています。

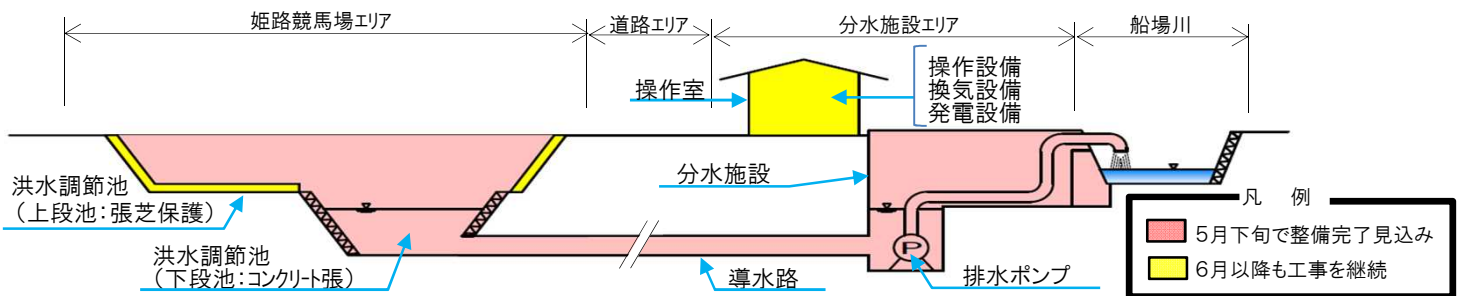


## 平成30年6月以降も、施設の完成に向け設備等の工事は継続します！

このたび、5月末時点で「洪水を貯めることができる池の整備」及び「貯めた水を排水するポンプ整備」の見通しがたったため、周辺施設整備は継続していきますが、6月以降の大雨時には船場川の水を『洪水調節池』へ貯留することが可能になり機能を発揮していきます。

なお、洪水調節池の関係施設が全て完成するには、「洪水を貯めるための池」以外に、「貯めた水を排水するポンプを操作するための電気設備」や、「安全に施設を点検するための換気設備」等の機能も備えておく必要があります。

つきましては、6月以降も、全ての施設の完成に向け、引き続き安全第一で工事を進めていきますので、ご理解とご協力を頂きますようお願い申し上げます。



## ～イベント開催(5月27日)のお知らせ～

■船場川と洪水調節池をつなぐ導水トンネルでウォーキングイベント(往復約1km)を開催■

6月以降は立ち入ることができなくなる導水トンネルの中を歩いて体感してみませんか。

ウォーキングイベントを下記により開催いたしますので、ご来場をお待ちしています。

◆開催日 平成30年5月27日(日) [雨天時も決行する予定です]

◆集合時間 2回に分けて開催しますので、下記のいずれかの時間までに集合して下さい。各部、約50分ほどで終了する予定です。  
(第1部)9時30分 (第2部)10時30分

◆集合場所 姫路競馬場内の工事現場(右の図を参照) 導水路の内部(直径3.5m)

◆留意事項 申込みは、当日現地での受け付けになります。姫路競馬場の正面入口とは異なりますのでご注意ください。工事現場内は駐車場所が狭いため、自家用車での来場はお控え下さい。来場者が集中した場合は、待つ頂くことがあります。導水トンネル内は、薄暗いのでご了承願います。



集合場所の付近図



姫路競馬場の正面玄関ではなく、さらに北側の工事現場出入口からお入り下さい。

窓口：中播磨県民センター 姫路土木事務所  
河川砂防課 【担当】深山(みやま)  
連絡先：079-281-9484